

1 計画作成 (別紙：全体計画、学校図書館活用計画)

2 各学年の実践

- ・各学級で1実践以上の取組(教科・領域、単元・活動、活用の仕方、有効な図書資料)
- ・活用記録に残し、年間活用計画や次年度に生かす。
- ・活用シートへの記録(別紙)、ワークシートの蓄積

1 学年国語「ほんはともだち」

読書旬間の家読と関連

校内読書旬間

4日(金)から21日(月)まで校内読書旬間が行われ、子どもたちは、「5月賞出しの日」や「読書クイズ」「読書劇展」など、図書委員会の企画を実施しながら本に親しみました。また、先生方の読み聞かせ「わくわくお話会」では、豊後づくりに関するお話をたくさん聞きました。お話を聞いてからは、自分たちで考えたお話を発表しました。図書委員からは「お話を聞いたら、自分たちで考えたお話を発表しよう」というお話を発表しました。子どもたちは読書の楽しさを味わい、自分たちで考えたお話を発表しました。これからは、子どもたちが本に親しんでいくよう、月に1回の読書の時間や、学級でも読み聞かせをしていきたいと思います。

家読

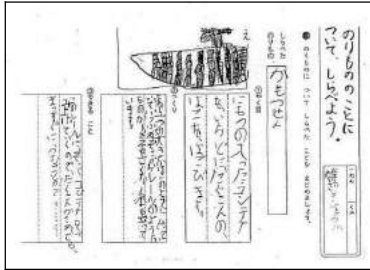
18日の読書の「家読」では、お母さんやお父さんに協力してもらって読みました。お母さんに協力してもらったお話を、子どもたちも読んで聞かされました。お話を聞いてからは、自分たちで考えたお話を発表しました。これからは、子どもたちが本に親しんでいくよう、月に1回の読書の時間や、学級でも読み聞かせをしていきたいと思います。

1. 読書の楽しさを味わう。	2. 読書を通して、いろいろな知識や情報を得る。	3. 読書を通して、自分の考えや感情を表現する。	4. 読書を通して、自分と他者の違いや共通点を知る。	5. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。	6. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。
----------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------

1. 読書の楽しさを味わう。	2. 読書を通して、いろいろな知識や情報を得る。	3. 読書を通して、自分の考えや感情を表現する。	4. 読書を通して、自分と他者の違いや共通点を知る。	5. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。	6. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。
----------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------

1. 読書の楽しさを味わう。	2. 読書を通して、いろいろな知識や情報を得る。	3. 読書を通して、自分の考えや感情を表現する。	4. 読書を通して、自分と他者の違いや共通点を知る。	5. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。	6. 読書を通して、自分と他者の共通点を知る。
----------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------

1 年国語「いろいろなふね」



2 学年国語「言われたお話を聞いて」

ボランティアによる伝承の読み聞かせ



2 学年国語「どうぶつのひみつをさがろう」

動物について本で調べ、クイズを作る。



↓ 3 学年国語「もうどう犬の訓練士」

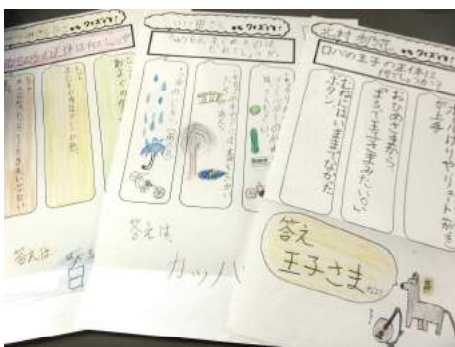
働く犬のリーフレット作り



↓ 4 学年国語「暮らしの中の和と洋」「ことわざブックをつくろう」



ことわざの意味を調べよう	4-2770	ことわざの意味を調べよう
--------------	--------	--------------



3 年国語「ゆうすげ村の小さな旅館」

物語のしかけを見つけてクイズ作り



5 年総合「食 ing 和食のよさを伝えよう」

和食についての調べ学習

6 年国語「ヒロシマの歌」

戦争に関する本を読んで



### 3 活動の見直し

#### (1) 読書センターとして

- ① 図書館利用オリエンテーション（各学級の4月の最初の図書の時間に実施）
  - ・利用の仕方について（本の分類、並び方等各学年に応じた内容で実施）
  - ・「学年おすすめの本」の内容の見直し
- ② 図書の紹介…司書、図書委員会、教職員
  - ・司書による図書の展示（月ごとのテーマ展示、新刊図書紹介）
  - ・「学級の図書の時間」における司書の読み聞かせやブックトーク
  - ・図書委員会による「おすすめの本」の展示
  - ・読書旬間における教師の本の紹介と展示及び読み聞かせ

#### ＜おすすめの本＞

おすすめの本 6年生	
 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店	 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店
 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店	 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店
 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店	 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店
 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店	 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店
 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店	 著者：山崎 隆子 発行：2018年10月 出版社：福音館書店



＜夏の展示＞



＜秋の展示＞



＜新刊図書の展示＞

#### ③ 「シリーズ読書」の推進、「家読」の推進



＜カードと賞状＞



#### ④ 読書旬間の実施（11月）

- ・委員会による読書郵便
- ・図書委員会による毎日の放送（クイズ、おすすめの本、その日の図書に関する活動）
- ・読み聞かせボランティアによる各学年のお話会
- ・教職員による「わくわくお話会」2回実施（新規）

題名と教室、担当の名前の一覧表を見て、子どもが好きなところへ行ってお話を聞く。



＜教師による本の紹介＞



＜読書郵便＞

←＜図書委員会の取組＞

④ お話会の実施

- ・読み聞かせボランティアによる昼休みお話会（年4回）
- ・読み聞かせボランティアによる低学年への読み聞かせ（7月から月1回 朝学習） 〈新規〉
- ・読書旬間中に各学年で1時間のお話会を実施
- ・なかよし朝読書（年4回）…縦割り班での読み聞かせ（今年度は4年生以上が読み聞かせを実施）



<縦割り班お話会>



<読書旬間「わくわくお話会」>



<ボランティアによるお話会>

(2) 学習・情報センターとして

① 調べ学習オリエンテーションの計画作成（各学年の必要に応じて適宜実施）

- ・国語や生活科・総合的な学習の時間の内容に合わせて計画を作成
- ・年間の学習を通して必要だと思われる内容を計画に盛り込む
- ・実施は次年度から

しるす動物のつづ	つづ	つづ	つづ
このどうぶつは どんなに のびのびとした このどうぶつ どんな動物の なまえですか	ページ	どうぶつ図鑑(国)のページを 見つけてください	
図鑑のこのつづ のまえに 3つを書きこむ	国	種	科
このどうぶつはどんな動物 のなまえですか	国	種	科

<2年生 図鑑の使い方の学習>

② 資料収集と資料提供（調べ学習に必要な図書の充実、授業で使いやすい図書資料のリストアップ）

- ・リクエストカードによる資料提供
- ・図書を活用した学習を通しての必要な資料の洗い出しと見直し及び購入
- ・地域資料、総合学習に関する資料収集

パンフレット、リーフレットの収集とファイリング（校外学習でもらってきた資料など）

③ 学習に合わせた図書の展示  
新聞の展示（常時）



やぎ→

百人一首  
←



④ 学校図書支援センター及び公共図書館との連携

- ・団体貸し出し、オレンジBOXの活用
- ・支援センターによる指導助言

⑤ 調べ学習についての掲示、ワークシートの常備

＜新規＞

⑥ 活用に関する情報提供

＜新規＞

- ・便り（教職員向け図書室便り、図書活用便り）
- ・司書からの働き掛け

年間指導計画に合わせた声掛けと資料の展示



＜ワークシート＞

＜教職員向けの便り＞

4 教員と司書との連携体制の見直し

① リクエストカードによる必要な図書についての依頼と資料準備

＜新規＞

- ・カードは職員室の司書の机の上に常備
- ・必要に応じてカードを司書に提出
- ・司書による必要な図書の選定と準備  
(学校図書館、地域の公共図書館、オレンジBOX)
- ・使用後のアンケート  
(資料の使いやすさ、図書館の蔵書見直し)

図書リクエストカード			
年 組 授業	担当者名	申込日 月 日	
教科・領域			
単元			
活動内容			
どんなことを本で調べたいか そのために どんな本が必要か			
必要冊数			
使用場所			
使用日・使用期間		月 日 ~ 月 日	

先生  
ありがとう

本のリクエストありがとうございました

先生方へお願い

このたびは、本の活用をご検討いただきありがとうございました。本がそろいましたのでご報告とお願いです。図書室は、学習センターとして学級に自立した資料提供、蔵書管理ができるよう努めています。そこで、子どもたちや先生方から、提供した資料に関する感想をお伺いして、本の購入や次年度への図書活用に役立てたいと考えています。

お渡した貸出資料リストのタイトル欄に、以下のような印をつけて、本と一緒にお返しください。  
(すべての本に記入する必要はありません、わかる範囲でけっこうです)

- ◎— たくさんの児童が活用していた（とても役に立った）
- わずかだが活用している児童がいた（役に立った）
- △— 活用していてもほしい書種がない冊子だった（役に立たなかった）
- この資料は使いにくかった（学年にふさわしいものではなかった）
- ×— 活用している児童はいなかった

このほか、「何となく内容が難しかった」「内容が面白かった」「内容が役に立たなかった」などの感想や意見がありましたら、以下のスペースに書き添えてください。

返却期日は \_\_\_\_\_ です。延長の必要がありましたらご相談ください。

図書館教育 図書・司書

×7欄

② 学級の「図書の時間」における司書との連携

- ・読み聞かせ（学級の図書の時間、朝読書の時間）…学習や時節に応じた選書、担当と相談の上決定
- ・調べ学習についての補助（資料の配架情報、適切な図書の助言、等）
- ・図書館利用及び図書活用スキルについてのオリエンテーション